



西合志南小学校だより

西南小の風

【校訓】明るく かしく たくましく

学校教育目標：主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成



令和8年8月28日

第6号

文責 西村 英一

夏休み明け集会

令和8年熊本地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

7月28日の地震では、西南小校舎も大きく揺れました。校舎や体育館は一部被害を受けましたが、後日専門の方に見てもらった結果、学校生活に影響はなさそうです。そのため、8月28日からは予定どおり通常登校ができました。

夏休み前、子供たちにはSNSトラブル・水の事故・交通事故・落雷事故等に関する指導を行う中で『自分は大丈夫!』と思わないこと』と話してきました。しかし、熊本地震から10年目の今夏、まさか震度7の地震が県内で再び発生するとは想像もしていませんでした。「当たり前」と思っていた学校生活を予定どおり再開できることが、実は「当たり前ではない」と感じています。

「夏休み明け集会」では、会に先立ち令和8年熊本地震で犠牲になられた方々への哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。その後、地震で被災した職員から「地震の被害の状況」「水不足で困ったこと」等の具体的な話を聞きました。話の中には、困っている状況で全国各地からたくさんの方が支援に来てくださり、うれしかったという内容もありました。最後には、子供たちに忘れないでほしいこととして「友達と会えること、水か出ること、電気がつくことなどは決して当たり前でなくありがたいこと」「困っている人がいたら声を掛け合い、支え合うこと」という話がありました。

さらに、防災担当の職員が、「話や放送を聞く態度」「登校中の安全確保の方法」「学校内外での身の守り方」「地域の避難場の紹介」「無言移動の意味」「おかしもち『押さない・かけない・しゃべらない・戻らない・近づかない』の確認」「避難経路となる教室や廊下等の整理・整頓の大切さ」等について話をしました。

ご家庭で災害対策を講じる際には、熊本県作成の「くまもとマイタイムラインシート（右図参照）」を参考にすることをおすすめします。熊本県ホームページや学校ホームページに掲載中です。

「睡眠時間の確保」と「食事の摂取」

夏休み明けの子供さんの様子はいかがでしょうか。子供さんが、落ち着いた気持ちで生活し、集中力を持って学習するためには、「睡眠時間の確保」と「食事の摂取」が大変重要です。

登校指導や午前中の教室を見て回るとき、元気がない子供たちを見かけます。この子供たちの多くは、本来明るく元気で、挨拶も自分からできます。気になって数人から話を聞くと「眠いだけです。」と言います。さらに話を聞いていくと「食欲がなくて、朝ご飯を食べていません。」という話が返って来る子供たちもいます。

仮に前日の午後7時に夕食を食べたとして、翌日の朝食を食べずに登校すると、給食までの約16時間以上絶食となります。私の身近な経験に例えるなら、毎日が人間ドックのような生活です。

もし、子供さんが朝食を食べずに登校している場合には、「睡眠時間の確保」をすると朝の目覚めが改善され、食欲が出るかもしれません。朝食として菓子パンなどでも構いませんので、子供さんが何か少しでも食べて登校できるように工夫していただきたいと思います。

P T A美化作業、お世話になりました

8月22日、P T A美化作業を行いました。校庭等の草取りや落ち葉掃き、教室の扇風機の清掃など広範囲にわたり作業をしていただきました。参加していた子供たちも熱心に作業をしていました。そのような光景を見て、私も小学生、中学生の頃に母や父と一緒に夏休み後半に実施されたP T A美化作業に参加していたことを懐かしく思い出しました。1時間程度の活動でしたが、みなさんのご協力のおかげでとてもきれいな環境となりました。参加してくださった皆さまに心より感謝申し上げます。

